富山県医療計画くがん>への取り組み状況

	 現	 状		-m 85	- 4 - 14 - 14	人左连办中华主业	光排业内心上水区水水水平口加入	目標
指標	国策定時	県策定時	県直近	課題	主 な 施 策	今年度の実施事業	進捗状況および今後の取り組み	2017年
●年齢調整死亡率(75 歳未満)	84. 3 (H22)	79. 7 (H22)	75.3 (H25)	受診率が低い。	●たばこ対策の充実強化(家庭・職場 における受動喫煙防止の促進)	街頭キャンペーン	○禁煙及び受動喫煙防止に引き 続き取り組む必要があり、特に	●年齢調整死亡 率(75歳未満)
●喫煙率	男 32.2% 女 8.4% (H22)	男 33.4% 女 10.5% (H22)			●がん検診受診率の向上	・No Smoking Campus プロジェクト (富山大学)	若い世代の対策が重要	⇒68.2 ●喫煙率 ⇒男 28%
●禁煙外来治療件数	154.0件 (人口10万対) (H22年度下半 期)	120.3件 (人口10万対) (H22年度下半 期)				○がん検診普及啓発マークの作成○がん検診受診率向上モデル事業5自治体で取組み(高岡、魚津、氷見、射水、上市)	○がん検診の受診率は全国より 高く推移しているが、20~30% 台であり、定期受検の重要性を 広く普及啓発する必要	⇒女 8%●禁煙外来治療件数⇒全国平均以上
●がん検診受診率	・胃: 9.2% ・肺: 17.0% ・大腸:18.0% ・子宮:23.9% ・乳: 18.3% (H23年度)	・胃: 18.8% ・肺: 36.3% ・大腸: 22.9% ・子宮: 27.0% ・乳: 30.5% (H23年度)	・肺: 33.6% ・大腸:24.9% ・子宮:25.3% ・乳: 26.7% (H25年度)			取組み例 ・特定健診と同時通知 ・乳幼児健診での受診勧奨 ・託児付き子宮頸がん検診	○退職者や女性をターゲットと したがん検診の普及啓発が必要	● がん検診受診 率 ⇒50%
●がん診療連携拠点病 院数 ●がん治療実施病院数	3.1施設 (人口100万対)	7.3施設 (人口100万対) (H23)	7.3施設 (人口100万対) (H26)			 ○企業と連携したがん検診推進事業 協定企業の拡大 9社→16社	○がん対策に関する協定企業の 拡大を進める	
・放射線療法 ・外来化学療法	6.0施設 12.7施設 (人口100万対) (H23)	9.1施設 19.1施設 (人口100万対) (H23)				がん予防推進員の養成		
●がん治療実施件数 ・手術療法 ・放射線療法 ・外来化学療法 ・がんリハビリ	39.9件 188.5件 155.7件 4.8件 (人口10万対) (H23.9)	46.3件 146.9件 214.7件 14.6件 (人口10万対) (H23.9)		療従事者の育成、集学的治	●集学的治療(手術・放射線・化学療法の組合せ)の充実 ●多職種チーム医療の推進	○中央病院における診療の機能強化 がん高度専門医療対応の新棟建設 の実施設計	○質の高いがん医療の提供のため中央病院における高度専門医療対応の新棟建設	
●認定看護師数(がん 分野)	(総数)3,531人 2.8人 (人口10万対) (H24)	(総数) 34人 3.1人 (人口10万対) (H24)	(総数)47人 4.3人 (人口10万対) (H27)		●認定看護師(がん分野)の教育課程 の設置	○認定看護師教育課程の開講 (H26.10)	○受講者26名	●認定看護師養成数 ⇒ 40人 (H25-29累計)
●緩和ケアチームのある医療機関数 ●緩和ケア実施件数	6.8施設	11. 8施設 (人口100万対) (H23) 20. 2件 (人口10万対) (H23. 9)		■相談支援センターの機能 充実や、ピア・サポーターの 活用等による相談支援体制 の充実が必要		○がん総合相談支援センターの設置 等 相談件数 908件 (H26.4-H27.2) ピアサポーター養成 (24名) 患者交流サロンの開催 (第4土)	○センターと拠点病院、関係機関との連携を進め、相談体制の充実が必要 〇ピアサポーターによる患者支援の推進	(H25-29系計) ●緩和ケアの実施件数 →全国平均以上 ●在宅医療を行う開業医グルー プへの参加医師
●在宅医療を行う開業 医グループ数及び参加 医師数		15グループ 188人 (H24)		■切れ目のない緩和ケアの 実施や在宅がん療養支援の 充実が必要。	●在宅緩和ケアの推進 (開業医グループ化)	○在宅緩和ケアの推進 (開業医グループ化)		数 ⇒増加 ●訪問看護ス
●地域連携パスの利用 件数	2.6件 (人口10万対) (H22年度下半 期)	10.0件 (人口10万対) (H22年度下半 期)					○病診連携、多職種での支援体制、訪問看護への支援、家族への支援等の推進が必要	テーション数 ⇒4.5施設 (人口10万対)
●訪問看護ステーショ ン数	6,298施設	39施設	50施設					
	4.9施設 (人口10万対) (H24)	3.6施設 (人口10万対) (H24)	4.7施設 (人口10万対) (H26)					